



快樂
金髮
男娘
の娘！

イロガワ ハヤトはちょっとした不良だった。
大それた悪事に手を出すことはなく、なんとなくといった
ノリとか付き合いで授業をさぼったり、ちょっと酒を呑ん
でみたり。

そんな彼は容姿が可愛いと女子にはちょっとした評判で。
デートに誘ってきたその女の先輩がまたハヤトの好みで。
彼氏がいると知っていたのに誘いについて乗ってしまった。
バレやしない。と何故か思いこんで。
つまりは、調子に乗っていたのだ。

その女子の彼氏は学校でも陰湿で有名な先輩で。
あっさりと彼女に手を出したことがバレってしまった。

先輩は元より、ハヤトをあまり気に入っていなかった。
女子にチャホヤされてはいるが気に入らないと。
そんな先輩が今回のような機会を逃すはずがなかった。

仲間も使い、ハヤトを学校の空き部屋に連れ込み拘束。
怯えの色を見せるハヤトを見て、ニタニタ笑う。

「今、金欠でさあ。
ちょっと知り合いがAV作ってて。
男の娘っていうの？そういうの素人もので映像ほしい。
って買い取ってくれるらしんだよねー。
ちょっと主演させるからさー。
頑張ってくれよー」

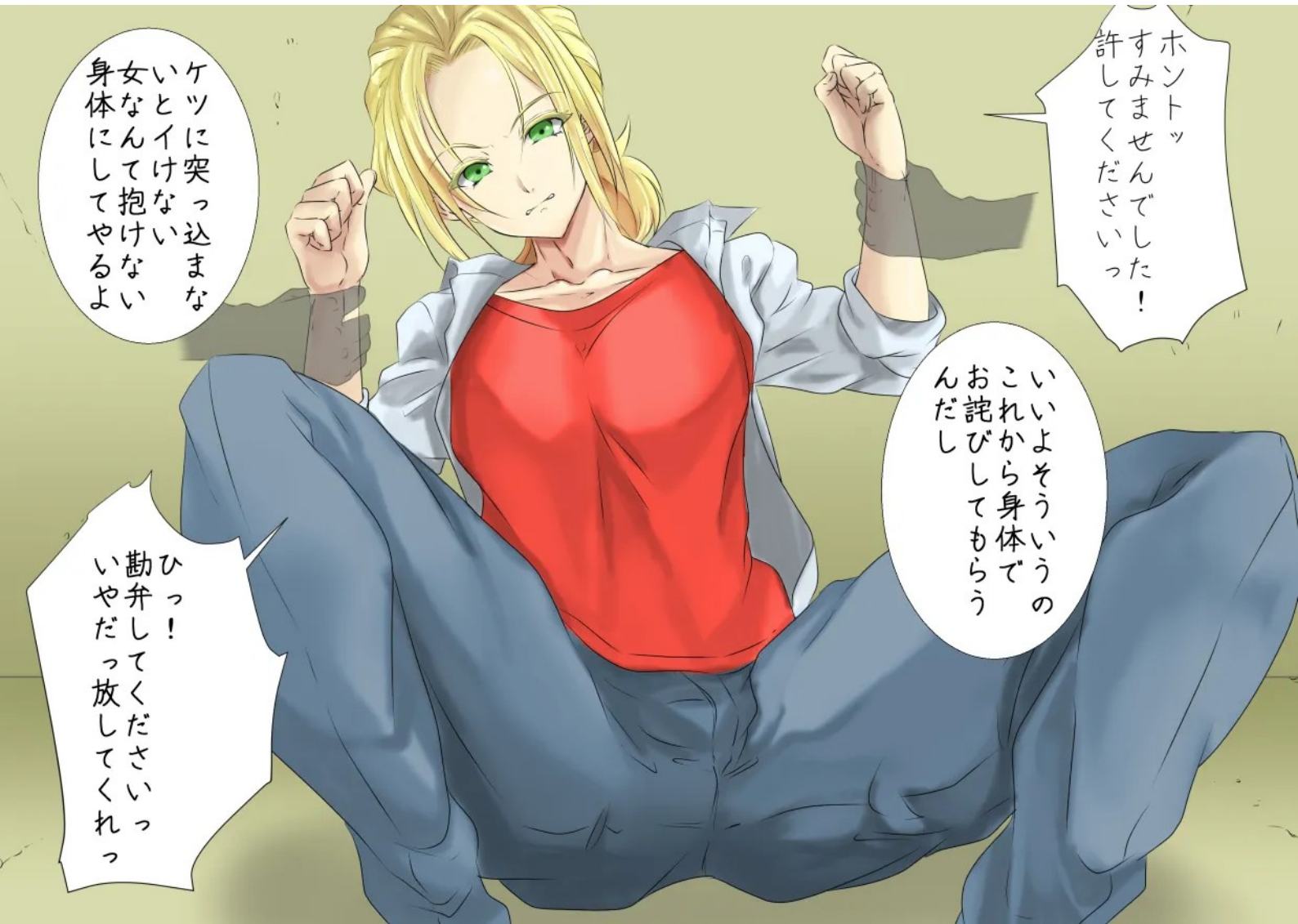
意地の悪い笑みでビデオカメラのレンズがハヤトに向け
られた。

ホントッ
すみませんでした！
許してくださいっ！

いいよそういうの
これから身体で
お詫びしてもらおう
んだし

ケツに突っ込まない
いとイけない
女なんて抱けない
身体にしてやるよ

ひっ！
勘弁してくださいっ
いやだっ放してくださいっ



うわあ
やめっ
切るなあっ!

なんだ
下の毛生えて
ねーのかww

間抜けな
格好だなあ
調子にのるから
こんな目に
会うんだぜ?

放してくれっ
マジでっ許してっ



つっ!
な、なんだよっ
それっ

媚薬だよ媚薬
めちやくちゃ
高かったんだぞ
これの元は最低でも
稼げよお前

よがり狂うの
ちやんと撮ってやるよ
覚悟はいいなー?
ハヤトちゃん



あぁあっ！
やめろっ！
止めてくれって！

おっ！
入ってっ！
ははっ

気持ち悪いっ！
のになんかっ
身体が変に熱く
なっくっ！！



おっもう感じて
きてんの？
流石に早くね？

なっ
ちがうっ

ん

あっ

違う？なら
チンコとケツに
ハマってるの
一気に引っこ抜いて
いいよな？

あっ！？
ちよっ？
まっ…っ

ビク

ハッ

ハッ

ビク

ずる

ずる

くち

しゅっ



あひ
あう
っ!!
!!

イビツ

イビツ

ズルッ
ズルッ

ズルッ



こんなあっさりっ!
き、気持ちいなんてっ
尻の穴もチンコの中も
乳首もじんじんと
熱くてっ!!!

ベキッ


ムガク

ガク

クク
ム
ビク
ク

カリ

ム
ム



薬の効果も相まってあっさりとは絶頂したハヤトの様子を面白がって媚薬を身体にふりかけ、身体の穴と言う穴に注ぎ込んだ。

身体に媚薬が吸収されるたびに快楽に思考が溶かされる。ハヤトが自ら犯してくれと懇願するのに時間はかからなかった。

撮影のテーマが男の娘であるため、ハヤトに女装をさせ、床に横たわらせ、片足を掴み上げる。

期待するかのようにはひくひくとアナルが震えていた。

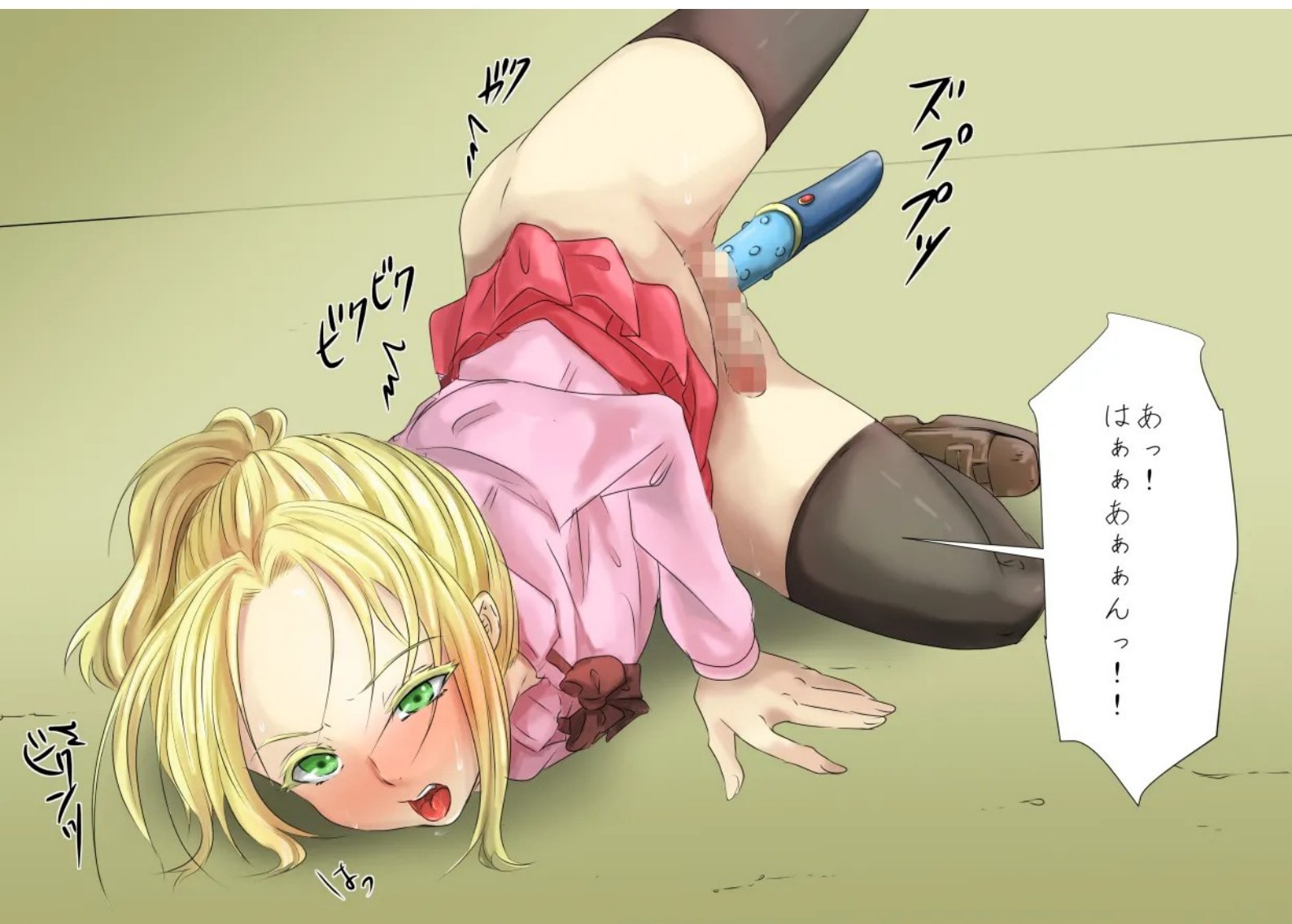
思いの外、違和感のない女装に笑いながらハヤトに手を伸ばす。



物欲しそうだなあ
おねだりでも
してみろよ

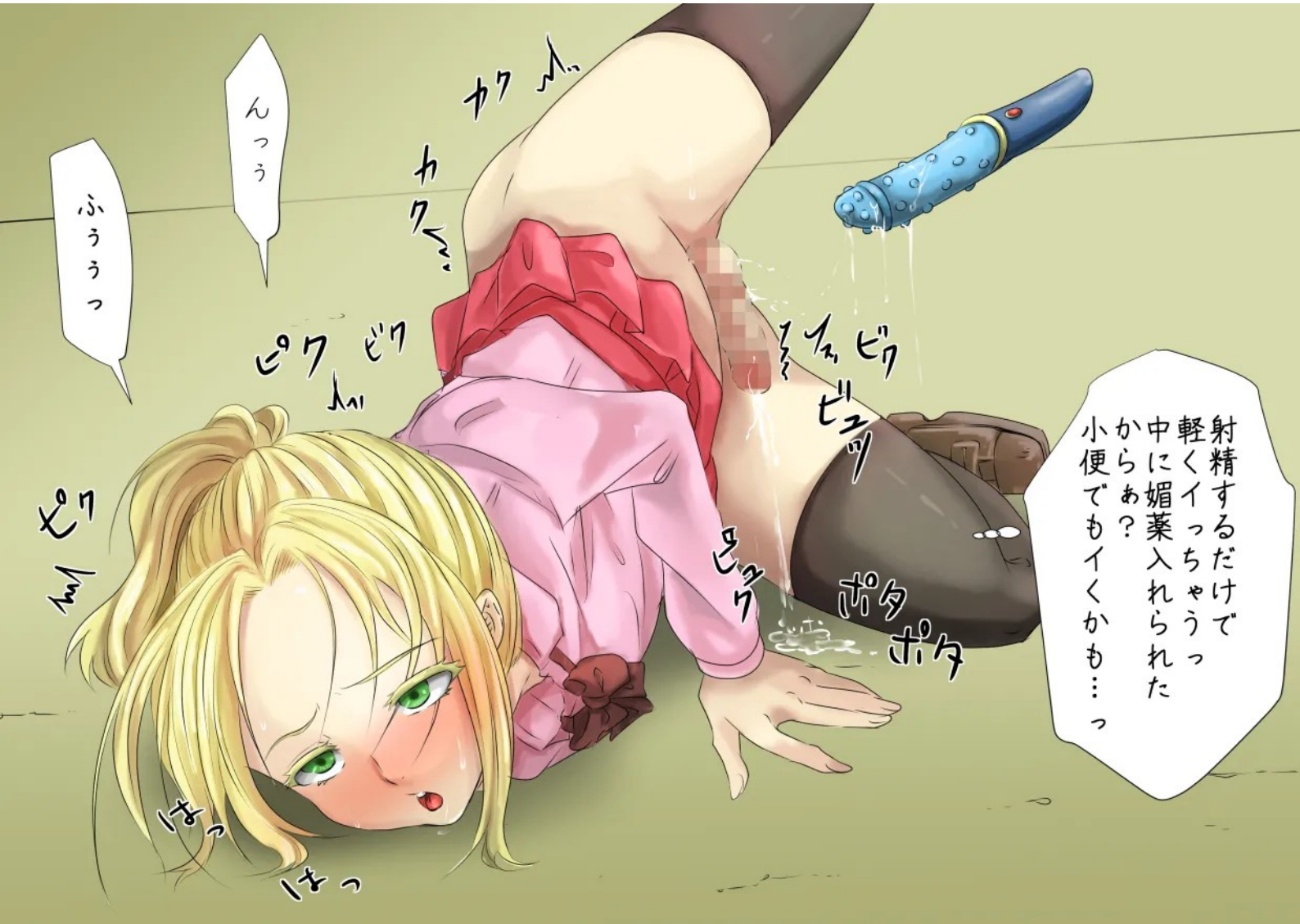
ううっはあっ
早くっケツマンコの
奥うっついでえ！





はあっ!
ああ!
ああ!
あんっ!!

Miyuki



ふうふう

んっう

カク

カク

ビク

ビク


ポタ
ポタ

はっ

はっ

はっ

射精するだけで
軽くイっちゃうっ
中に媚薬入れられた
からあ？
小便でもイくかも…っ



次にハヤトはスクール水着を着せられ、外の水泳場に連れて行かれた。

部活動中の男子水泳部部員が好奇の目を向ける。

先輩は撮影のことなどを部員たちに話し、協力を求めた。

説明を受けた部員たちは好奇心と加虐心を隠そうともしない笑みを浮かべた。

寝っ転がった男子の上にハヤトは自ら跨り、勃起した一物を下の穴に咥えこんだ。

その顔は悦に浸っている。





あんっ

うう

じゅ

ぎゅっ ぐりっ

ひあ

はっ はっ

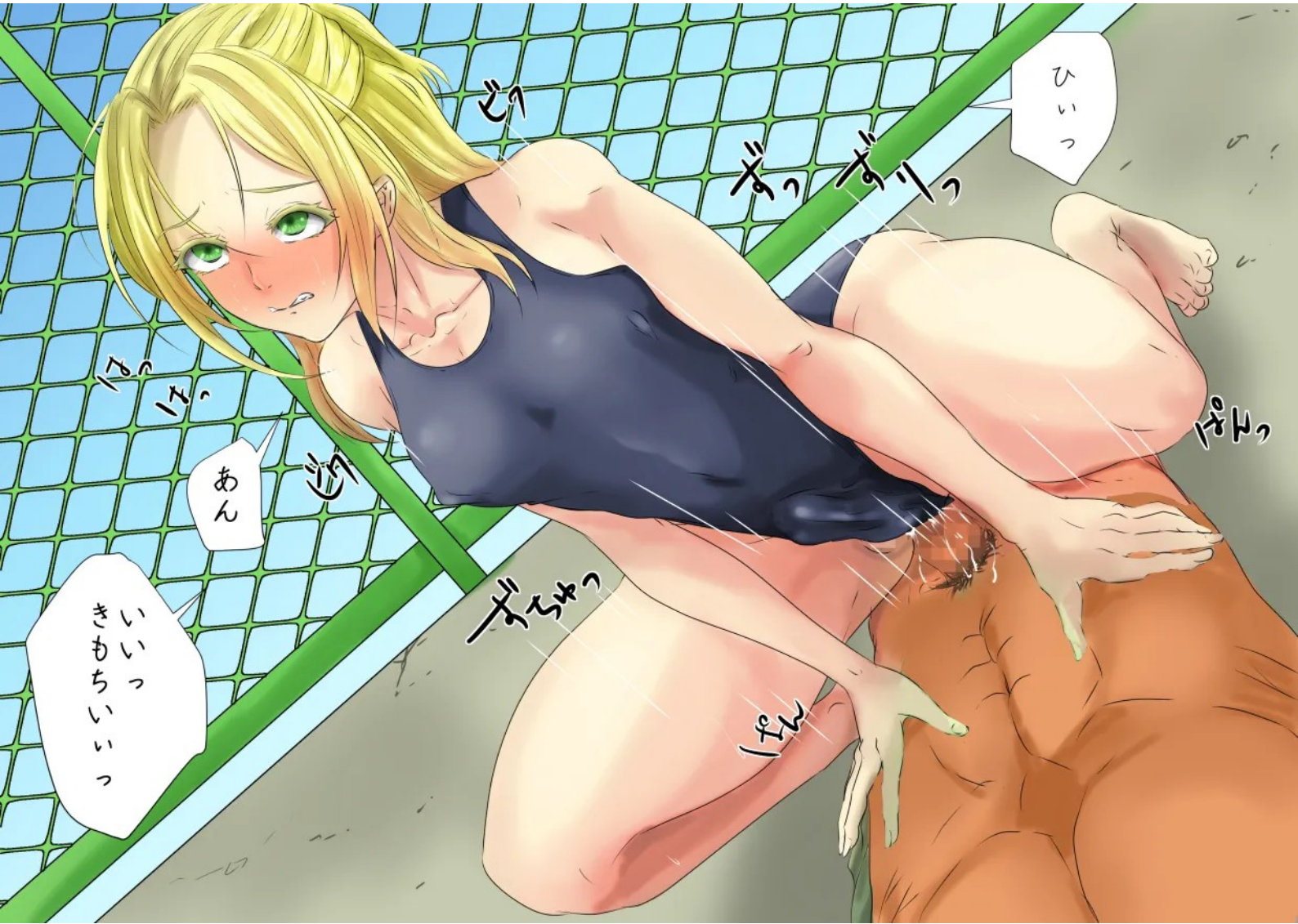
ぱんっ

ぐちゅっ

たん

ち
ょ
っ
と
興
奮
し
て
き
た
ぜ
わ
わ
わ
わ
ザ
ー
メ
ン
か
け
て
や
ろ
う
ぜ

ケ
ッ
で
感
じ
て
ん
の
か
よ
メ
ス
だ
な
あ



ひいっ

ずいっ
ずいっ

ぱんっ

あん

きい
いっ
きい
いっ
きい
いっ

ずいっ
ずいっ

いん



んぐっ

うっ出る！ナカに出すぞっ！

んんっ!!

びゅん

びゅん

びゅん



俺も出るっ
ぶっかけてやるっ

ああっ

びゅく

びゅ

びゅ

びゅ...

びゅっ

びゅ

びゅ

はあっ

気持ちいい
かよ



あはっあっアっああ...





十数人いる水泳部員に代わる代わる犯される。

そうしていれば、気が付けば日も暮れかけていた。

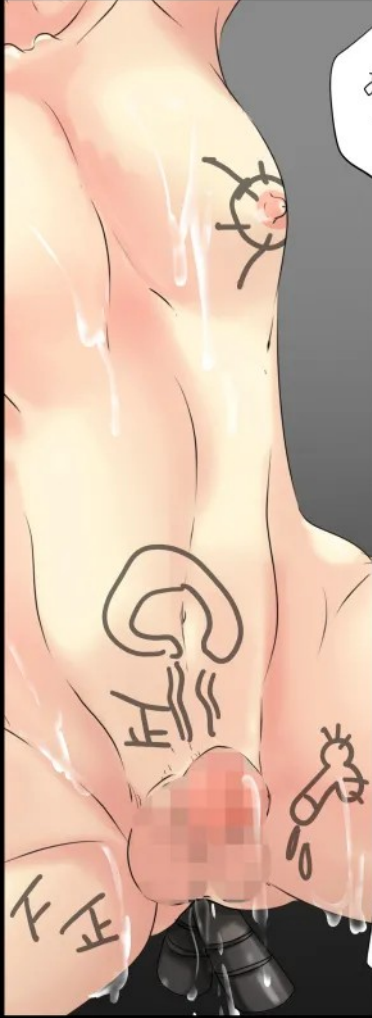
着せられたスクール水着は穴が空けられ、そこから見える乳首はいじられ過ぎて赤くなっていた。

いきすぎて喘ぐことしか出来なくなったハヤト。

その様子をビデオに収め、満足そうにする先輩。

後日、その映像は売りに出された。
それなりの売り上げを出したらしい。

だが、ビデオとは関係なく、ハヤトの性活は狂った。



あっ
ふっ

はっ

あんっ

はっ
ひあっ

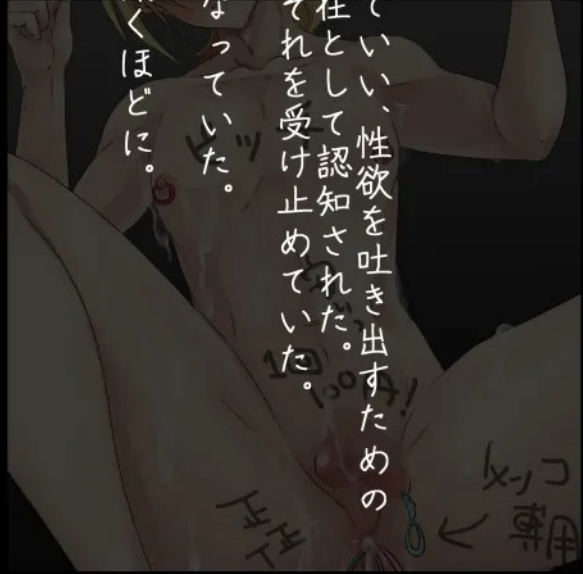
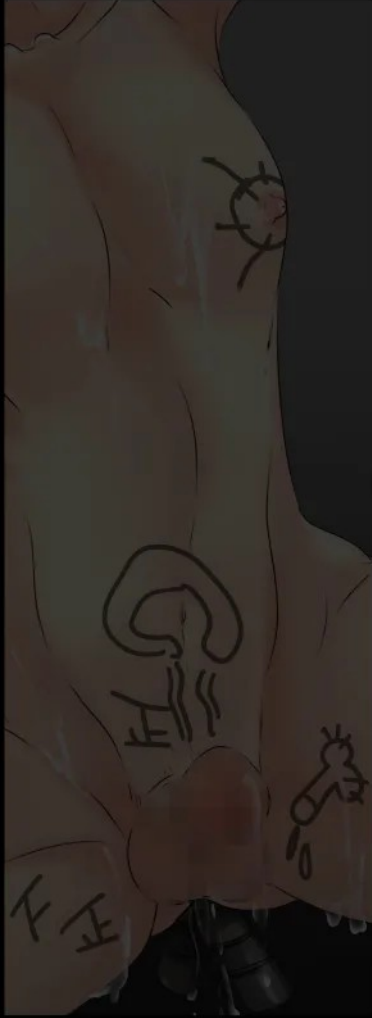


ああっ!
もっとおお...

はっ



ハッ
ハッ
ハッ



ハヤトは好きに犯していい、性欲を吐き出すためのおもちゃのような存在として認知された。しかし、ハヤト自身、それを受け止めていた。すっきり快楽の虜になっていた。自ら女装をし、股を開くほどに。



誰かあハメてえ
はあはあ
もう早くっ

もう女抱けねえなあ
すっひっ
身体にたりスケベなあ







あぁっ!
いっばい!
そいでえ!

あはっ!

ナカっ!

ガッ
カッ

ガッ

ガッ

ゴッ
ゴッ

ゴッ
ゴッ

ゴッ
ゴッ

ゴッ
ゴッ



あぁっ

あんっ

うわっ
胸成長してるwwww
やべえwwww
乳首やべえwwww

頭も体もおかしくなってるなあ

ビク

ビク

グニッ


シク

ビク

ずっ

ずっ

ずっ



卑猥に変貌した身体はもう取り返しがつかないと
誰が見ても明らかだった。
しかし、ハヤトは満足そうであった。
今日もきっとこれから先もその身体に快楽を求め続ける
のであろう。



はあはんっ

ビュッ
ビュッ

ビュッ

もっと
ちょうらい

犯してください

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ
ビュッ

ビュッ

ビュッ





































